

17. 京都文教大学

テーマ	T グループで学生は何を体験し、何を学んだのか ～京都文教大学実践社会学科「つなぐラボ演習Ⅰ」の授業実践～	
発表代表者	中西 勝彦:京都文教大学 総合社会学部 実践社会学科 助教	
連名発表者	寺田 あゆみ:京都文教大学 総合社会学部 総合社会学科 4年生 北尾 千夏:京都文教大学 総合社会学部 実践社会学科 2年生 山下 遥叶:京都文教大学 総合社会学部 実践社会学科 2年生	
キーワード	T グループ	人間関係トレーニング
	ファシリテーション	授業実践
発表の概要	京都文教大学総合社会学部実践社会学科(以下、本学科)では、プロジェクト活動を中心とした様々な「実践」を通じて、社会課題の解決に寄与する人材の育成を目指している。本学科では、プロジェクト活動に必要な6つのスキルを伸ばすための科目を「プロジェクト・スキル科目」としてカリキュラムに位置づけている。そのうち、リーダーシップやファシリテーションなど、対人コミュニケーションに関わるスキルの伸長を目的とした「つなぐラボ演習Ⅰ」では、人間関係における関係的過程を学ぶために授業内でT グループを行っている。T グループ(T はトレーニングの略)は、参加者がグループで起こる「今-ここ」の人間関係のプロセスに気づき、その体験から学ぶことを目的とした非構成的なグループ活動である。本発表では、T グループに参加した学生が、T グループでどのような経験をし、何を学んだのかを報告する。	